

授業概要

財務・会計分野は(1) キャッシュフローを扱う「財務(ファイナンス)」と、(2) 利益を扱う「会計(アカウンティング)」に大きく2区分される。(1)の「財務(ファイナンス)」は①「投資(資金運用)」、②「資金調達」、③「配当」の3分野で構成される。企業を始めとする組織は、その活動において「資金」を必要とする。経営財務論Ⅰ・Ⅱでは、主に上述の(1)の②の「資金調達」を講義する。最初に金融市場の構造を学び、資金調達にはどのような手段があるかを理解する。次に資金調達を行うに当たって、その方法と実務を講義する。最後に企業の評価である企業価値(エンタープライズ・バリュー)がどのように決定されるのかを確認することで、財務(ファイナンス)と企業価値の関連を理解する。

授業計画

第1回	経営財務論Ⅰのオリエンテーション： 学習目的、学習の仕方、意義
第2回	財務と会計： 財務(ファイナンス)と会計(アカウンティング)の二分野の理解
第3回	財務会計概要： 取引⇒簿記⇒決算⇒財務諸表⇒株主総会⇒納税のフローの理解
第4回	財務諸表①： 損益計算書(P/L)のしくみと作成目的を知る
第5回	財務諸表②： 貸借対照表(B/S)のしくみと作成目的を知る
第6回	財務諸表③： キャッシュフロー計算書(CF)のしくみと作成目的を知る
第7回	資金調達と資金運用： 資金区分の基本(調達と運用)
第8回	資金調達の区分： 短期資金調達と長期資金調達
第9回	短期資金調達①： 運転資金、賞与資金、納税資金とはなにか
第10回	短期資金調達②： 銀行からの短期資金の借り入れの方法、要諦
第11回	長期資金調達①： 間接金融市場からの資金調達(銀行借入)
第12回	長期資金調達②： 長期借入資金返済計画の作成(返済資金<税引き後利益+減価償却費)。
第13回	新種の資金調達： デッドファイナンス、アセットファイナンス、エクイティファイナンス
第14回	企業価値(事業価値)： 企業価値(エンタープライズ・バリュー)という考え方。
第15回	財務(ファイナンス)と企業価値の関連： 企業価値とキャッシュフローの現在価値
第16回	筆記試験を実施する

到達目標

- ①経営財務(企業経営と財務管理)の基礎知識を修得する。
- ②財務諸表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書)のしくみを理解する。
- ③資金の区分を理解する(短期と長期の区分)。
- ④資金調達の方法、返済原資について説明できる。

履修上の注意

講義では初めて聞く金融・会計用語や説明が多いと思われます。今まで知らなかった「金融での考え方」も出てきます。接した時にすぐさま修得していくこと。授業で出てきた専門用語は自分のポキャブラリィとしてその日から使っていくこと。講義内容を理解し、毎回しっかりと復習すること。不明な点は遠慮せずに質問して理解していくこと。この講義は秋期の「企業財務Ⅱ」(エクイティ・ファイナンス)に引き継がれます。

予習・復習

皆さんにとって財務や会計は初めて学ぶ分野であるかも知れません。最初は専門用語や調達方法の説明に戸惑うことがあるかも知れません。講義を通じて、企業財務(コーポレート・ファイナンス)の考え方を理解し、ファイナンス用語に慣れてください。授業後は配布資料等を復習し、分からないところは次の授業で質問してください。

評価方法

期末試験 70%、受講態度 30%を予定しています。詳細は授業で説明します。

テキスト

テキストは必要に応じて授業で説明します。

資料配布を行います。

参考書：福永肇著『病院ファイナンス』日本医療企画 2020年 ISBN978-4-86439-921-0、2800円